

コード	103040402
記入日	H23.5.30

事務事業途中評価表

課コード	108
課名	まちづくり推進課
課長名	田本 耕一
担当者	荒木 順一郎

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	地域公共交通活性化・再生総合事業
----------	------------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 22 年度 ~ 平成 25 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	7
施策コード	103	施策名称	しさを支える交通基盤づくり	項コード	1
基本事業コード	10304	基本事業名称	海上交通の充実	目コード	1
事務事業コード	1030404	事務事業名称	地域公共交通の活性化及び再生事業	細目コード	1029
関連計画	新上五島町地域公共交通総合連携計画		法令・条例規則等	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律	

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1)	地域公共交通総合連携計画書	(対象指標1)	1冊			
(対象2)	連携計画実施	(対象指標2)	15事業□H23から3ヶ年×5事業)			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・新上五島町交通ネットワーク協議会へ負担金を支出して、地域公共交通総合連携計画を策定し、次年度からの3年計画に基づいた事業を実施していく。	・新上五島町交通ネットワーク協議会へ負担金（729千円）を支出して、地域公共交通総合連携計画を策定し、次年度からの実施事業を調査し計画した。	連携計画事業数	0事業	0%	連携計画実施事業0事業+連携計画事業15事業	平成25年度
		連携計画事業数	0事業	0%		平成22年度
		① (達成率分析)	年間のネットワーク促進協議会の事業に対する補助金を支出し、計画通り計画書を策定し、次年度以降実施事業に取り組む。			
		地域公共交通総合連携計画策定	1冊	100%	連携計画書策定数1冊	平成22年度
		地域公共交通総合連携計画策定	1冊	100%	+連携計画書策定予定1冊	平成22年度
		② (達成率分析)	計画通り計画書を策定し、次年度以降実施事業に取り組む。			
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
・公共交通の現状と問題点をアンケート調査を行いながら探り、計画書を策定し、今後のしにぎわい創りを支える公共交通サービスの提供を目指す。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		連携計画事業数	0事業	0%	連携計画実施事業0事業+連携計画事業15事業	平成25年度
		連携計画事業数	0事業	0%		平成22年度
		① (達成率分析)	年間のネットワーク促進協議会の事業に対する補助金を支出し、計画通り計画書を策定し、次年度以降実施事業に取り組む。			
		地域公共交通総合連携計画策定	1冊	100%	連携計画書策定数1冊	平成22年度
		地域公共交通総合連携計画策定	1冊	100%	+連携計画書策定予定1冊	平成22年度
② (達成率分析)	計画通り計画書を策定し、次年度以降実施事業に取り組む。					

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		21年度以前	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 事業	15	0		0	0	5	5	5	
	② 冊	1	1		1	1	—	—	—	
成果指標	① 事業	15	0		0	0	5	5	5	
	② 冊	1	1		1	1	—	—	—	
総事業費 C (A+B)	千円	34,223	1,429		1,429	1,429	11,097	12,297	9,400	
直接事業費 A	千円	31,423	729		729	729	10,397	11,597	8,700	
人件費 B	千円	2,800	700		700	700	700	700	700	
内訳	従事職員数	人	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	34,223	1,429		1,429	1,429	11,097	12,297	9,400	

評価

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	公共交通が住民の利用しやすいものになるためにどうしなければならないか検証する必要がある。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	時代の情勢や環境の変化に応じて検討が必要である。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	新上五島町交通ネットワーク促進協議会で論議された内容が盛り込まれている。
有効性	・現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	住民の要望を反映した計画となっている。
	・成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	計画事業を実施しながら検証を重ねて、計画の見直しをしていく。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	住民の望む公共交通が形成されない。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	できる ●できない	理由	単一の事業であり、整理統合はできない。 (ひとつの計画の中で見直ししていく)
効率性	・直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	実施(利用)状況によって、見直すことができる。
	・人件費を削減することはできませんか。	できる ●できない	理由	最小の人員で行っており削減はできない。
	・受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	今後、実証運行、本格運行の場合は、応分の負担をさせていく。

改善

改善策	1次評価	妥当性	計画に則った実施事業であるので、現在のところ見直す必要はない。
		有効性	実施状況によって、見直しを随時行っていく。
		効率性	計画の見直しによって、事業費の見直しも行う。
		課題に向けた改善策	実施事業と平行して、住民へのアンケート調査も随時行い、実施計画に反映させる。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり。
		有効性	医療再編等や地域交通のニーズを把握し、公共交通が住民の利用しやすいものになるよう連携計画に沿って事業を実施すること。
		効率性	負担金の執行については、内容を精査し適正に行うこと。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。